

## MATTA FAIR Kuala Lumpur 2014、2014 Visit Japan Travel Trade Meet in Malaysia 【くまもとブースにおける活動支援】

シンガポール事務所

2014年9月5日(金)から7日(日)までの3日間、クアラルンプール(マレーシア)において、同国最大の旅行フェア「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2014」が開催されました。

熊本県は、同旅行フェアに初めて単独ブースで出展しました。当事務所では、同ブースの来場者への観光パンフレット配布や魅力紹介等について活動支援を実施しました。

### 1 「くまもと」ブースにおける観光PR

熊本県と九州観光推進機構のブースは隣接しており、九州として統一感を出すため両者の間仕切りを取り除き、同じテーマで背面ポスターをデザインしました。九州にはクアラルンプールからの直行便がないため、経由便を利用したアクセス方法を示す地図を設置し、九州の位置を知らない旅行者も理解できるよう工夫しました。



質問する来場者

マレーシアでは、経済発展に伴う中間層の増加や円安などを背景に訪日旅行への関心が急速に高まっており、旅行者の増加が期待されます。また、昨年7月の観光査証(ビザ)規制の緩和後、マレーシアからの観光客数は、個人旅行、団体旅行そしてインセンティブ旅行等すべてにおいて大きく上昇していると言われています。しかし、その目的地のほとんどは、東京・大阪・北海道であり、九州の認知度はまだまだ低いと思われます。日本への旅行者はリピーターになることが多いこともあり、次の旅行先として九州(熊本)が選ばれるよう、まずは継続的なPRにより知名度アップを図る必要であるようです。

また、熊本市は、ムスリム観光客誘客のため、モスクやハラルに対応した施設についても情報提供に努めていました。

### 2 商談会

MATTAに合わせて、クアラルンプール、ペナン、コタキナバルの3カ所において、旅行業界関係者などを対象に、セミナーおよび商談会が開催されました。このうち、熊本県はクアラルンプール及びペナンでの商談会に参加しました。

商談会は、現地の旅行エージェントが興味を持った地域のブースを、1 か所あたり 10 分という制限時間で訪問する形式で実施されました。

### (1) クアラルンプール

地元旅行会社の担当者の多くは、九州を多少知っているものの行ったことはないとのことでした。マレー系マレーシア人の訪日旅行への関心が高まっているとのことで、ムスリム向けパッケージツアー担当者から、県内のハラル認証レストランや祈祷スペースについて質問を受けました。直行便がないためツアーが売れにくいという声が聞かれますが、他社とは違う新しい目的地を探しており、九州をその候補として考えている旅行社もありました。



ツアー行程相談の様子

### (2) ペナン

九州のツアーを販売している旅行社はほとんどなく、知名度がまだまだ低いようです。日本への直行便がないペナンでは、バンコク、香港経由のツアーが主流とのこと。アクセスという点においては、九州も日本の他の観光地と条件は同じであるため、PR にも力が入っていました。

## 3 終わりに

マレーシアでも訪日旅行のリピーターが増加しており、前回とは別の地域を旅行したいという要望が増えています。東京・大阪・北海道等の人気の観光名所を経験した訪日旅行客をいかに誘致できるかが、他地域への旅行客増加のカギとなると思われます。

九州の知名度をさらに向上させるため、九州の各自治体と九州観光推進機構が連携した広域的な観光 PR を、継続的に推進していくことが大切です。

(岡田所長補佐 熊本県派遣)